



地域医療
支援病院

災害拠点
病院

地域がん
診療連携
拠点病院

迎春



患者サポートセンター広報誌

九州労災病院

九労 Kyuro Hello! ハロー

理念

地域住民と勤労者の皆様に、良質で安全な医療を提供します。

基本方針

- 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療を提供します。
- 地域医療機関との連携を重視し、中核病院として高度専門医療を担います。
- 働く人々の健康を守り、治療と仕事の両立を支援します。
- 患者さんに寄り添う心と、高い技能を兼ね備えた医療人を育成します。
- 経営基盤が安定し、働き甲斐のある病院づくりを目指します。

2023 January vol.93



謹んで新春のお慶びを
申し上げます

皆様、明けましておめでとうございます。

昨年4月に赴任して以来、早くも9ヶ月が経過しました。現在、福岡市の自宅から自転車、地下鉄、新幹線、公用車を乗り継いで、九州労災病院まで通勤しています。片道1時間30分、往復で3時間超の通勤時間が苦痛と感じ出すと、途端に毎日が辛くなる場所ですが、私はこの通勤時間をいかに有効活用するかに腐心し、逆にポジティブに捉えることにより、楽しく有意義な習慣に転換することに成功しました。基本的にはiPhoneの活用です。要するに1日3時間、オーディオブックによる読書、ポッドキャストでの歴史の勉強、外国語学習、音楽、瞑想、あるいは睡眠などに費やせる余裕ができたと考えたのです。限定された行為しか許されない環境では、それをするしかありません。自分を強制的にその環境において、好きなことに没頭できることは、何と幸せなことでしょう。



九州労災病院
院長 三浦 裕正

さて、九州労災病院に赴任直後より、コロナ禍で弱体化した病院経営の改善に着手しました。外部コンサルタントによる詳細な経営分析、課題の抽出、具体的なアクションプランの提示に加えて、若手スタッフで構成されたタスクフォースの設置など、病院全体で一致団結して、改善に向かっていくところであり、すでに効果が現れ始めています。

新しい年を迎え、今年が勝負の年であると認識しています。兎年でもあり、しっかり耳をそば立て、アンテナを張り巡らせ、あらゆる情報をキャッチしながら、昏迷の時代から脱却すべく、高く跳躍する年にしたいと考えています。コロナ禍の情勢はなかなか見通しが難しいのですが、即効性、実効性のある短期的プランを実行しつつ、平行して中長期的対策をとることにより、しっかりとした屋台骨の再構築を目指すとともに、九州労災病院の使命である地域医療への貢献を実践していくこととお約束します。

今後とも、地域の皆様からの暖かいご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

がんばって
います!!
診療科紹介

外科 (呼吸器外科)

呼吸器外科 副部長 森藤 良浩

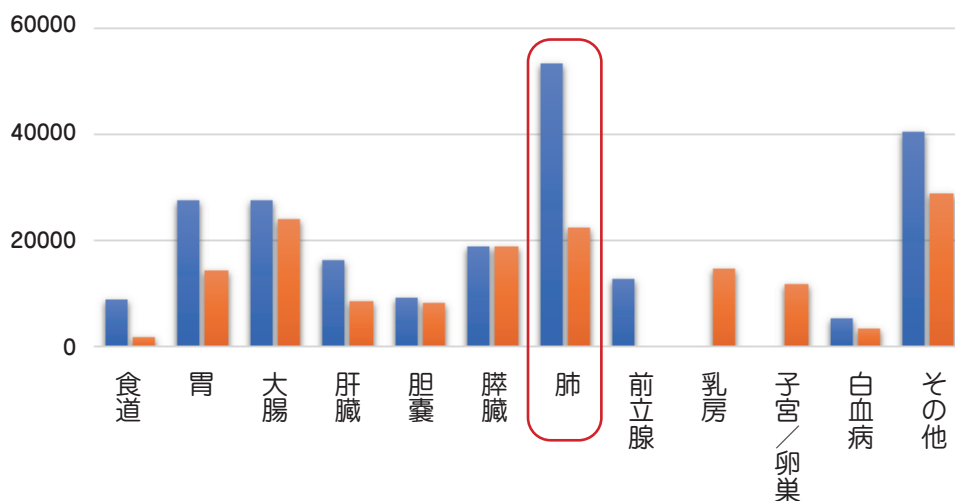


平素より大変お世話になっております。当院では呼吸器外科領域は、森藤（呼吸器外科副部長）、八谷副院長兼呼吸器外科部長の2人体制で診療を行っております。

原発性肺癌、転移性肺癌をはじめとした肺悪性腫瘍、胸壁腫瘍、有症状・増大傾向の良性肺腫瘍、気胸、膿胸などの胸腔内感染症、縦隔腫瘍、外傷、また、整形外科腫瘍チームと合同で悪性軟部腫瘍の胸壁合併切除、再建術など、他科と連携した手術も行っております。肺癌については標準的手術である肺葉切除術をはじめ、病状や個々の患者様の背景に応じた区域切除術、部分切除術などの低侵襲手術を取り入れており、ほとんどの手術を胸腔鏡下に行っております。最近では分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬などの新薬の適応拡大は目覚ましい状況です。放射線治療適応なども含め、呼吸器外科、呼吸器内科、放射線科、病理診断科などが参加して行う各科の垣根を越えたカンサーボードを定期的で開催し、治療適応を慎重に検討しております。

肺癌は部位別がん死亡数では、男性では第一位、女性では第二位と非常に多く、一部の早期肺癌を除き、依然として多くの患者様が肺癌で命を落とされているのが現状です。一方で早期肺癌の内にご紹介いただいた症例の多くは根治的な手術が可能となっています。当院で撮影に使用しているCT検査機器は低線量撮影機能を有し、健康診断部では肺ドッグのオプション設定で検査を受けることができます。肺癌健診CTで偶発的に肺癌が見つかり、早期に根治術を行えることもあります。喫煙歴のある患者様など、是非ご紹介いただけますと幸いです。これからも患者様にご満足いただけるように最良の医療を提供していきたいと思っております。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

主な部位別がん死亡数(2020年)



出典：令和2年(2020)人口動態統計月報年計(概数)の概況より作成

がんばって
います!!
診療科紹介

乳腺外来(女医対応)

外科医師 大津 香奈絵



平素より大変お世話になっております。

当院は2020年に「地域がん診療連携拠点病院」に認定されたことに伴い、消化器領域や呼吸器領域のみならず、乳腺疾患の強化のために、乳腺外来を開いたしました。

乳癌の罹患者数は年々増加し、2019年の女性の部位別癌罹患者数では1位となり、癌死亡者数では4位となっております。乳癌への意識は高まってはいますが、どこに受診したらいいのかわからない、自己触診の仕方がわからない等の現状も課題としてあります。

当院初診に来られる方は、自身でしこりを自覚された方、ご紹介頂いた方、検診異常の方、様々おられます。異常なしと診断された方は、自己触診の仕方を実際に示し、パンフレットもお渡しするようにしております。乳癌の診断に至った方は、手術適応の場合は、部分切除、全切除両方可可能な場合は、それぞれのリスクベネフィットを提示し、選択して頂くようにしております。全切除を希望された方は特に再建のことや各社から出されております下着を案内し、癌だけでなく、乳房の喪失感への配慮も同じ女性目線を生かし、心掛けております。手術適応外の方は、個々人の意思を尊重し、がん専門看護師とともにつらさを傾聴しながら最善の加療方針を決定し、QOLを維持しつつ延命を図っております。病状説明には必ず30分-1時間は設け、気がかりなこと、心配なことを言える、その場で困難でも溜め込まないようにする環境を整えるよう努めております。

日々治療法が進歩している乳癌診療におきまして、常に最新の情報入手を行い、適応の患者さんへ迅速に提供できるようにしております。

また、当院では乳癌検診も行っており、放射線科医師とともに読影し、異常がある場合は、患者さんの希望があればその場で当院乳腺外来を受診できるようにしております。要精密検査と届いた場合の受診先探しや結果が届くまでの1ヶ月の期間の不安を和らげることに寄与できればと考えております。

同じ女性として患者さんに寄り添った医療を提供できるように今後も他職種連携し精進して参ります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。





【がん地域医療連携セミナー】 【がんセミナー】動画を掲載しています！



九州労災病院 検索
<https://www.kyushuh.johas.go.jp/>

当院では、がん診療連携拠点病院の取組の一環として、市民講座等を開催しております。

令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、**当院ホームページにて動画を配信**し、多くの方々にご視聴いただく環境を整備しております。医療従事者の皆様におかれましては、ぜひご視聴ください。
 令和4年度のがんセミナー動画は産婦人科部長 鏡誠治 先生です！



医療従事者向け WEB 講座

ユーザー名とパスワードは
 ユーザー名: **kyuroukenshu**
 パスワード: **Kyushurou96**



地域住民向け WEB 講座

九州労災病院

〒800-0296 北九州市小倉南区曾根北町1-1
 TEL 093-471-1121 (代表)
 ホームページ
<https://www.kyushuh.johas.go.jp>



患者サポートセンター

患者サポートセンターSTAFF

センター長 副院長 中島 信能

入退院支援部門 師長 薮田 万喜

社会福祉部門 MSW 坂出 友美/豊嶋 奈保子/竹中 芳美

地域連携部門 事務 山本 尚宏/福田 圭介/二見 誠司
 小笠原紗彩乃/黒田 早苗/迫 やよい
 今林みゆき

お問い合わせ先

入退院支援部門 代表電話 093-471-1121

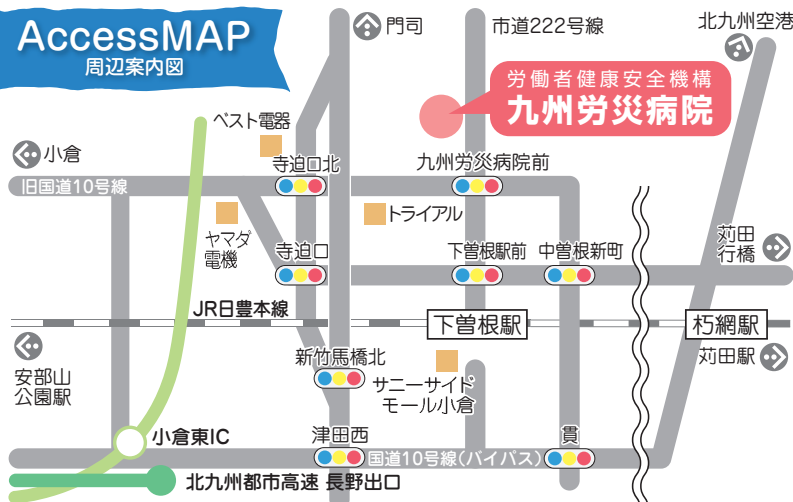
社会福祉部門 直通電話 093-475-9686

地域連携部門 FAX 093-473-5903

共通 E-mail renkei.renk-k@kyushuh.johas.go.jp

AccessMAP

周辺案内図



診療案内

受付時間 午前8時15分～午前11時

救急受付 急患は24時間随時受け付けます

診療時間 午前8時45分～午後5時15分

休診日 土曜日・日曜日・祝日
 年末年始(12月29日～1月3日)

初診時 7,700円 (10月1日から)
 選定療養費 診療情報提供書のご持参を
 お願いしております